

電源について

SPS200には、バレルコネクタ(グレー)または2ポジションの+/-端子台(緑)より24Vが供給されます。スイッチ(ピンク)をONにします。基板に電源が供給されると、PWGD LEDが点灯します。

出力端子台の接続

+VCCです。+5 V ~ +12 V 出力、+VCC SETスイッチ(赤)で設定可能
-VCC: -5 V ~ -12 V 出力、-VCC SET スwitch(青)で設定可能

イネーブル/ディセーブル

DIS端子台には、3.3 V TTL信号(5 Vコンパチブル)を接続することができます。この信号がHighのとき、出力は無効となります。未使用の場合は、未接続のままにしておきます。

出力電圧の設定

出力電圧の設定は、+VCC SET、-VCC SETスイッチにより、それぞれ次式で行います。

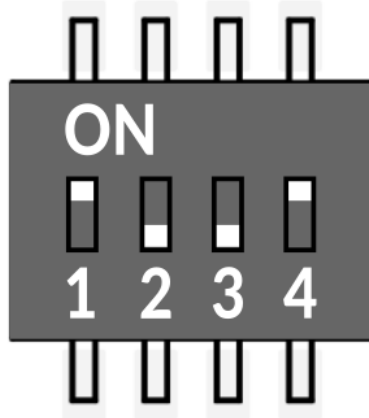
$$VCC = 5 V + SW1 \times 4 V + SW2 \times 2 V + SW3 \times 1 V + SW4 \times 0.5 V$$

ここで、OFF時はSWX=0, ON時はSWX=1です。

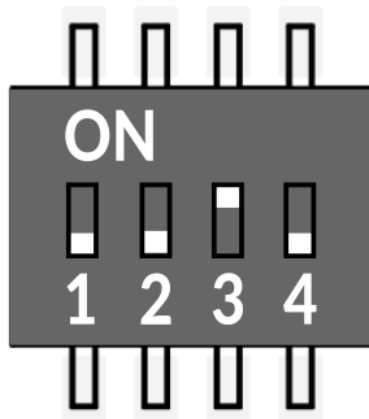


事例紹介

+VCC = 9.5 V (5 V + 1 × 4 V + 0 × 2 V + 0 × 1 V + 1 × 0.5 V = +9.5 V):



+VCC = 6 V (5 V + 0 × 4 V + 0 × 2 V + 1 × 1 V + 0 × 0.5 V = 6 V):



動作限界

SPS200-PNの出力電力(正出力+負出力)の合計は36W(SPS200-PPは48W)以下にする必要があります。また、出力電流は下図に示す制限値以内にしてください。

